

2023年9月4日(月)
公益財団法人 マツダ財団

第9回マツダ財団オンラインサロンのご案内

日時：2023年9月27日(水) 18:00-19:30

場所：オンライン Microsoft Teams

テーマ：「地域おこし協力隊」について

タイムスケジュール：

18:00 参加者紹介

18:05～18:35 研究発表 長岡造形大学大学院准教授 板垣 順平 様

18:35～18:55 事例発表 一般社団法人 まなびのみなど 勝瀬祐介 様

18:55～19:25 質疑応答

19:30 終了

マツダ財団では、今まで支援した団体、あるいは研究者の中から、テーマに応じて関係者を募り、意見交換する場を設けています。似た活動あるいは同じ目的を持った団体と研究者を繋ぎ、より深くそのテーマについて議論することで、お互いに気づきが生まれ、より良い活動に進化するためのお手伝いをしたいと思っています。マツダ財団の市民活動支援と研究助成は同じ分野を対象とし、研究と実践の融合を図ることを目指しています。

板垣先生は、マツダ研究助成を2021年度に受けられ、実務経験や専門知識の少ない若者でも、限られた活動期間のなかで、隊員が地域で活躍できるための活動方法論を研究されています。

勝瀬様は、大崎上島で地域おこし協力隊として活動しながら、一般社団法人 まなびのみなどでも活躍されています。

地域を活性化させるために活動されている地域おこし協力隊の皆様の活動が、より効果的になるような意見交換ができればと思います。どなたでも気楽にご参加ください。

(研究・活動概要は別紙参照)

(お問い合わせ) マツダ財団 井上 Inoue.to@mazda.co.jp

以上

第9回マツダ財団サロン 発表者概要

名前（敬称略）	所属	地域	概要
板垣 順平	長岡造形大学 大学院 造形研究科	新潟県	本研究は、総務省が2008年より実施している地域おこし協力隊の制度を大学が活用し、実務経験や専門知識の少ない若者でも、限られた活動期間のなかで、隊員が地域で活躍できるための活動方法論を提示することを目的とする。具体的には、地域おこし協力隊を希望する若者を大学が学生として受け入れ、活動に必要な知見やスキルを大学で学びながら、研究の成果を地域おこし協力隊の活動に生かすための活動サイクルを構築するとともにこの活動サイクルを生かすことができる環境や拠点を整備し、その意義を明らかにする。
(2021年度研究助成申請書より)			
勝瀬 祐介	一般社団法人 まなびのみなと	広島県 豊田郡 大崎上 島町	『高校生が変わり、学校が変わり、地域が変わる』 NPO法人カタリバが企画する「全国高校生マイプロジェクトアワード」には昨年度1万6000人を超える高校生が参加しました。2021年度・2022年度と、弊団体はカタリバと連携し広島県Summitを開催、県内21の高校から41プロジェクト・高校生約100名が参加しました。普段出会う事のない社会人や様々な背景を持つ同年代の高校生との対話を通し、新しい気付きを得る機会を創ります。 来年度は、プロジェクトを実施している高校生の地域に集まり、学校外で高校生同士が学び合うコミュニティづくりに挑戦します。また県内高校教員を対象とする勉強会も継続します。
(2023年度市民活動支援申請書より)			